



1938年9月、林芙美子らペン部隊を上海で迎える火野葦平
左2人目から林芙美子、片岡鉄兵、久米正雄、火野葦平

2025 7.19(土) SAT — 2025 9.28(日) SUN

■開館時間／9:30 — 18:00 (入館は17:30まで)

※初日は開会式のため、10:30から開場

■休館日／月曜日

(ただし、7月21日、8月11日、9月15日は開館、翌日休館)

■観覧料／無料

■主催／北九州市立文学館

■協力／新宿区立新宿歴史博物館

■後援／朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、
西日本新聞社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、
KBC、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、
テレQ、CROSS FM

— 火野葦平、林芙美子の場合

戦争と

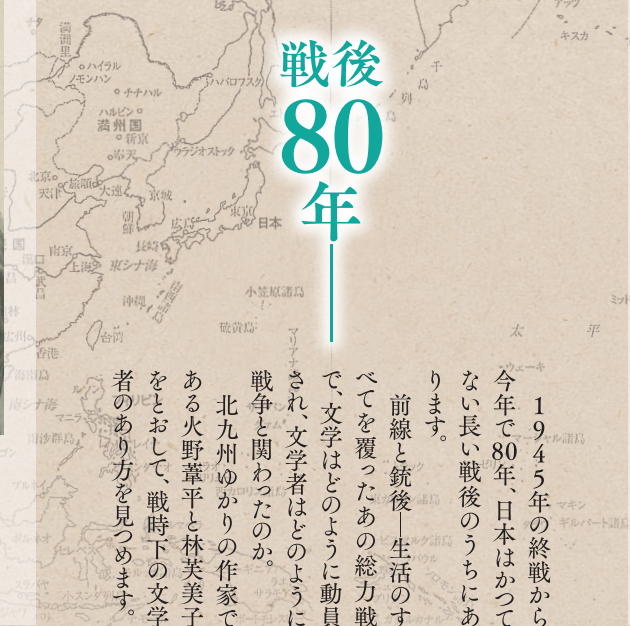
戦後80年

徐州作戦でメモを取る火野葦平



ひのあしへい 火野葦平 (1906-1960)

本名、玉井勝則。若松で石炭沖仲仕業を営む玉井組の長男として生まれる。1938年、日中戦争従軍中に芥川賞受賞。その後発表した従軍記「麦と兵隊」がベストセラーとなる。戦後は一時、公職追放となるが、のち解除。「花と龍」などの代表作を発表した。



1945年の終戦から今年で80年、日本はかつてない長い戦後のうちにあります。前線と銃後—生活のすべてを覆ったあの総力戦で、文学はどのように動員され、文学者はどのように戦争と関わったのか。北九州ゆかりの作家である火野葦平と林芙美子をおして、戦時下の文学者のあり方を見つめます。



ペン部隊として従軍中、輸送船内の林芙美子

はやしふみこ 林芙美子 (1903-1951)

本名、フミコ。門司生まれ(下関誕生説あり)。1930年、自伝的日記体小説「放浪記」がベストセラーとなる。日中戦争では、ペン部隊に加わり、「戦線」「北岸部隊」などの従軍記を書いた。戦後、戦争で傷ついた人びとを描く短編や代表作「浮雲」を発表した。

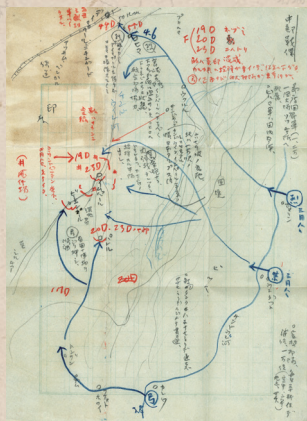
火野葦平「兵隊三部作」

左から「麦と兵隊」(1938.9)「土と兵隊」(1938.11)「花と兵隊」(1939.8)、すべて改造社



火野葦平
従軍手帳
「インバル」Ⅲ
1944.7.4

火野葦平自筆の
インバル作戦
進軍地図



林芙美子
「戦線」
朝日新聞社
1938.12



林芙美子
「北岸部隊」
中央公論社
1939.1



陸軍省報道部から林芙美子へ
南方視察のために発行された旅行券
1942.9.14

奥泉光さん 特別講演会

「物語と戦争 —小説は戦争を どう描くのか—」

日時 8月10日(日)
13時30分～15時

会場 J:COM北九州芸術劇場
小劇場(リバーワーク北九州6階)

定員 120人 参加無料

申込 7月3日(木)から
電話受付
☎093-571-1505

WEB受付は
こちら▶



奥泉光 おくいずみ・ひかる

作家。1956年山形県生まれ。94年「石の来歴」で芥川賞受賞。著書に『ノヴァリスの引用』(野間文芸新人賞)、『神器—軍艦「樞原」殺人事件』(野間文芸賞)、『東京自叙伝』(谷崎潤一郎賞)、『雪の階』(柴田錬三郎賞、毎日出版文化賞)、『虚史のリズム』(毎日芸術賞)など多数。最新著『虚傳集』所収の「清心館小伝」で川端康成文学賞受賞。2012年から芥川賞選考委員を務める。いとうせいこう氏との文学ライブ「文芸漫談」も人気。

1 開会記念講話「戦場を見つめる —火野葦平・林芙美子の日中戦争—」

日時 7月19日(土)11:00～12:00 講師 五味渕典嗣さん(早稲田大学教授)
会場 北九州市立文学館 交流ひろば 申込 7月3日(木)から電話受付(☎093-571-1505)

2 文学講座 ①「広東からマニラへ —戦地の文化運動—」

日時 8月30日(土)13時30分～15時 講師 坂口博さん(火野葦平資料の会会長)

②「芙美子と戦争」

日時 9月13日(土)13時30分～15時 講師 今川英子(北九州市立文学館館長)

3 朗読会

日時 8月17日(日) 朗読 野口和夫さん(直方林芙美子顕彰会)
13時30分～14時30分 ▶火野葦平、林芙美子の戦争に関わる作品を朗読します。

2 3 共通

会場 北九州市立文学館 交流ひろば 定員 60名(先着)
申込 8月5日(火)から電話受付(☎093-571-1505)

4 学芸員による 展示解説

日時 ① 8月16日(土)
② 9月23日(火・祝)
各回14時から30分程度
申込 不要

5 協賛上映 小倉昭和館 2本立て¥1500 8月2日(土)～8月8日(金)

陸軍 (原作:火野葦平) 松竹 1944年/監督:木下恵介、出演:田中絹代、笠智衆

下町 ダウンタウン (原作:林芙美子)

東宝 1957年/監督:千葉泰樹、出演:山田五十鈴、三船敏郎
詳細は小倉昭和館(☎093-600-2923)へ

北九州市立文学館

Kitakyushu Literature Museum



〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1

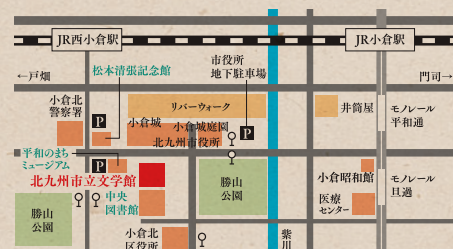
TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525

https://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/

Access

- JR小倉駅より徒歩15分
- JR西小倉駅より徒歩10分
- 市立中央図書館・文学館前バス停より徒歩1分
- 北九州市役所前バス停より徒歩2分
- 小倉北区役所前バス停より徒歩2分
- 北九州都市高速大手町ランプより2分

駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。



北九州市立中央図書館

戦後80年企画展示
7月2日(水)～9月28日(日)

北九州市平和のまちミュージアム

企画展
「記憶の表裏—継承とは何か、を問う—」
7月23日(水)～10月13日(月・祝)

北九州市立松本清張記念館

企画展
「軍都の風景と占領の影 松本清張の戦前・戦後」
9月20日(土)～11月24日(月・振休)

戦後80年 特別企画